1697

旅團長 庄山少將

下達法 電報或所刷交付

十月二十六日

一、戰鬪經過ノ概要

(一)、敵ハ本二十六日西方ニ於ケル我ノ一部ヲ歩兵二中隊ヲ以テ鶴荷(九四六高地西南西三粁)及夢則村(九四六高地西南方四粁)方面ヨリ夢破スルト共ニ有力ナル一部歩兵一中隊ヲ以テ二〇一一高地方面ノ敵ヲ攻撃セシメ又我ト協力スル

(二)、我ハ連絡ノ爲前進セシメ又我小林中隊(二〇一一高地)附近ニ於テ敵ノ側方ヲ衝ク爲前進セシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

公地ヲ確保續行シテ南方高地ニアル敵ヲ攻撃中
旦夜猪々前方支隊ノ一部ト連絡ス

戰果
敵遺棄死体
鹵獲品

小銃 八
手榴彈 二
噴進砲 一

我戰死傷

戰死 兵一
負傷 兵一

(二)
今支隊ハ本二十日各々一部ヲ以テ姚門口北方高地ヲ
北主力ヲ以テ北艾堡北林背湯林則安底北東北

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二軒ヲ検索燼滅シ十八時主力ハ宋路ニ進出セリ
廿二十六日石峯ノ南艾鎮南方高地ニ於テ病院ヲ又大西
堂(宋教安則)西北方三軒ニ於テ被服修理工場ヲ發
見遺滅セリ
戰果左ノ如シ
兵站鎮ニテ敵兵器製造工場アリ直ニ爆彈ニテ小銃
部品多數(倉庫ニ保管ニ充滿シアリタリ)ヲ燼滅セリ
又工材約ニ於テ二九師供給部ノ印アル繃帶三個ヲ發見
燒却ス
石峯附近ニ於ケル戰果
藥品 多數 磨棒 將下 六〇〇箱
現品 某 セリ。
繃帶材料 五〇個
軍袴 若干。

諸品共ニ燼滅セリ

87

1717

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(三)

支隊ハ小寨ー東坡ー関張山(小寨西南方約二粁)
道ヲ前進中十三時関張山西南方閉鎖陣地ヨリ
ロ砲並ニ於テ北方西方ニアル敵ヲ攻撃ス
支隊當面ノ敵ハ遮断地ヲ有スル三面高ヨリ十八時支隊ハ関
張山西南方約四粁附近一帯高地ヲ占領ヒリ
支隊ハ二十六日夜ハ同地ニ於テ夜ヲ徹シ二十七日拂曉ヲ期シ
テ二高地ニ向ヒ敵ヲ攻撃スル筈

鹵獲品

敵遺棄死体　一
遮断地　一
小銃　一一
同　弾一一九〇八〇(一一箱)
同旅弾(中形)二二
榴弾板　三一
手榴弾　四七

1718

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

防毒面　二個　眼鏡　一
関張山ヨリ砂ヲ捜索セルモノ
騰鳶板　二　ラヂオ　二
蓄音機　一　導火線　七巻
迫射砲弾　三八　歩兵砲弾　三六
戦死　一
下士官　一　兵四　通譯　一
戦死馬　支馬　一
戦傷馬　支馬　一

(五四)
田中支隊ハ二十日和順発十七時三十分平地川ヲ兵力ヲ集結シ同夜同地ニ露営ス
平地川東南方後綾上ニ二三十名ノ敵ヲ発見セルノミ
二十七日和順ニ帰還スル予定ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵情

(一) 敵第十旅ハ依然一九四六高地周回ニアルモノノ如シ
即南隘(甲)東北南方四粁附近ニハ二八圏洪水鎮東方四粁山中ニトーチカ二九圏二〇一一高地南方高地ニハ三〇圏ニ備スルモノアリト 敵兵(兵子)ハ二九圏ト行動ヲ共ニシアリト
(又支隊報)

(二) 支隊方面ノ敵ハ友軍第一線最高陣地(發煙)ヲ知リ友軍機来ヲ望ン發煙セリ
(支隊報)

(三) 洪水鎮東側地帯ニハ相當ノ敵アルモノノ如シ一九三八高地附近ニハ若干ノ敵アルノミ
以上ヲ綜合スルニ十旅ノ主力ハ依然洪水鎮附近ニ集結シアルモノト判断セラル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十月二十七日

戰鬪經過ノ概要

(一)又支隊ハ本二十七日午前右背面殘部ヲ以テ右背ニ在リテ樹溝ー東産底道ニ沿ヒ峪地ヲ爐城シツヽ先ツ東産底道ヲ企圖シ又支隊ヲ區處シ洪水鎭常方地區ノ警戒並主力ヲ以テ攻擊ヲ準備中ナリ

又支隊ハ本朝來一部ヲ以テ二〇一一高地方面ヨリ同高地南方ニ新高地ノ敵ヲ攻擊中ノ又支隊ニ協力セシム

又歩兵一中隊ヲ左會(又四溝南方ニ於ケル前進セシム

又隊ハ午前三十分ニ談隊トナリ右談隊全力ヲ以テ嘗則村北方後續ニヲ洪水鎭東方高地ニ在談隊ハ歩兵一中隊山砲一ヲ以テ二〇一一高地ヨリ嘗則村東方開鎭間諜高地ニ進出爾後洪水鎭東南方高地ニ向ヒ敵ヲ意ニ

1721

1691

二十七日十九時三十分神崎(二〇一一)高地西北方約四粁ノ京園方
二粁閉鎖面線高地ニ侵入
交敵當面、敵十數輛主力(七八高)ハ交敵ノ次害ニ
依リ洪水鎮西北方地區ニ退却セリ
被害概要
敵遺棄死体八
鹵獲品
小銃 一
我負傷兵 一
燼滅部落左ノ如シ
西林背地塔之腰石背光西及附近無名部落一帯
兵舎二棟
兵舎ニ流用セラレ敵ノ一。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

9091

一、米軍ハ六十二十七日早朝来黄煙洞西方二新開鎖曲隊高地ニ大砲ヲ利用シ堅固ナル永久トーチカ陣地ヲ占領シ頑強ニ抵抗シアルニ拘ラズ敵ヲ歩兵、飛行適切ナル協力ニヨリ攻撃十三時ニヲヨ頃ニ

米軍ハ引続キ攻撃ヲ急行シツヽ十九時三十分左翼ニ進出シ米軍ハ現ニ十五高地ニ到着シ一部ハ前進洪水鎮東方地区ニ敵ヲ攻撃ヲ企図シアリ

二、我軍ハ

一、戦果

敵遺棄死体 二八

捕虜 一

鹵獲品

小銃 三七

ブローニング 若干

十糎迫撃砲 二

弾丸 四〇〇

1723

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

関飛山西南方二川三軒家地下ニ方六爆彼
（トーチカハ石疊ニシテ道程五米厚サ一米以外）

彈藥倉庫	二棟	小銃彈	一〇〇〇
手榴彈	二〇〇	野戰機	二個
火藥庫	一棟	塩	五俵
書類	二二五粒	綿糸	一束
綿布	三二個	地	數百
臨時板	二組	鐵柵橋下	
防空壕	二〇〇	被服倉庫	
マッチ	二箱	爆藥信管	二
足袋	三箱	煙草	一五〇〇
日用品	八箱	糧食倉庫二棟	
石鹸	四箱	以上全部燒却破壞ス	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(三)
一、昨八日午前十時谷寧ヶ燼滅教会廟(寄附西北方四粁)ノ南側樓
一階庇(寄附北方八粁)道ニ沿ヶ地區ヶ掃蕩燼滅シツヽ十九時演
舌庇ニ宿ス
舌庇ニ於テ新華日報發行所ヶ案内ノ左記諸品ヶ押收セリ

記

輸轉機(三台)
印刷用活字(五五箱)
印刷用紙(臨ヒヶ合ノ無數ニ梱包シアリシヲ焼却ス)
閩豪樓ニ於テ
冬軍衣袴(二千着)
閩豪樓鎮ニ於テ
被服廠アリタルモノヽ如シ又同地閩方商地一軒豪ニテ彈
藥庫ヶ發見燼滅セリ

1725

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

沙路溝(呂庄南方ニ於テハ九師)軍務用諸雑品庫ヲ索出燼滅ス主ナルモノ左ノ如シ

用紙	五〇〇個
印刷用インク	一箱
謄寫機	二台
印刷機部分品	二十五個
硫酸ランプ等	若干數

(四)田中支隊ハ二十六日地辺部隊ト策應シテ午地川ニ進出セルモ大ナル敵ヲ見ス二十七日午二時三十分無事和順ニ歸還セリ

二、敵情

(一)敵ハ進攻ニ際シ譯撲滅暴等必帶物資ヲ地下ニ埋没シ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

アルニ付土民ヲ捕獲シ細密ニ調査スルノ要アリト認メテル

(二)　オ支隊ノ面ノ敵匪害絶ヲ有スル三四百ハカミニ大陰ノ利用ト堅固ナル陣地ヲ占領シ頑強ニ抗セリ

三、旅團長ハ速ニ又オ南支隊ヲシテ洪水鎮東方地區ノ土匪ニ大痛害ヲ加ヘタル後桐峪鎮附近ヲ燼滅セシムヘク二十日十時獨混四旅作命甲第八〇號ヲ下達又

獨混四旅作命甲第八〇號

獨立混成第四旅團命令　十月二十日十時　蟠

一、洪水鎮東側地區ノ敵情概況ハ別紙ノ通リ

二、旅團ハ當カニ又オ南支隊ヲシテ洪水鎮東方地區ノ土匪ニ大痛害ヲ加ヘタル後桐峪鎮附近ヲ燼滅セントス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、又支隊ハ當面ノ十旅ニ一営ヲ以ヘタル後速ヤカニ東塵底又ハ桐蛤鎮附近ニ進営シ爾後ノ該地附近爆滅戦ヲ準備スヘシ

四、又支隊ハ又支隊ノ區署ヲ受ケ十旅ニ一営ヲ以ヘタル後洪水鎮ニ進営爾後反轉ヲ開始シ洪水鎮大塘(磐龍鎮東方七粁)南山鎮(大塘西南々三粁)馬嵐頭(磐龍鎮東南四粁)磐龍鎮ヲ経テ十一日大石鎮ニ二日宋村ニ五日灌店ニ進出スヘシ

五、予ハ遠縣戰闘司令所ニ在リ

旅團長兒山少將

下達法
電報後印刷交付

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、旅團長ハ十月二十七日十二時獨混四旅ニ命令ヲ下達シ之ト協同作動ヲ律ス

獨混四旅作命甲第八〇一號

獨立混成第四旅團命令

十月二十七日十二時
一、支隊ハ二十八日反轉ヲ開始シ左ノ如ク行動スヘシ 盧縣

二十八日大洋甫附近ニ宋敎育三十旦一部ヲ以テ下庄主力ヲ以テ芹泉鎮三十一日拂兒鎮十一月一日松煙鎮二日和順ニ進出時ニ下庄芹泉鎮以南ノ地區ノ燼滅ヲ徹底ス

三十一日以後ノ部隊ハ旅團直轄トナリ三十一日白羊尖ニ十一月一日盧縣ニ進出ス

二、予ハ盧縣戰鬪司令所ニ在リ

旅團長 牡山少將

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十月二十八日

一、戰鬪經過ノ概要

(一)又攻ハ十一時ニ高地ニ集結ヲ終リ續イテ七樹溝ー東坡ー桐峪鎭道ヲ桐峪鎭ニ向ヒ前進、途中沿道部落ノ燼滅及電話線ノ切斷ヲ實施シツヽ十五時東坡ニ進出次テ十六時窪家庄(東窪底西北方古村)ニ於テ五六十ノ敵ヲ攻擊之ヲ西北方ニ擊退十七時小寨ニ進出附近部落ヲ燼滅シ十八時桐峪鎭ニ向ヒ前進ス

又攻ハ一部ヲ以テ梁峪(東窪底西北々三粁)北方閉鎖曲線高地ニアリタル約六十ノ敵ヲ西北方ニ擊退シ同夜梁峪ニ露營ス

戰果

鹵糸 一三個

鹵布 二個

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

我損害

員傷兵一

(二)

才ノ八隊ハ敵ヲ追撃シツヽ八時左翼出發前ヶ經ヲ十二時柳樹岩西方高地ニ進出シ逐々抵抗スル敵(兵力不明)ヲ攻撃シ十六時寨坪(洪水鎮南方二粁)ニ進出ス

戰果

敵遺棄死体 五

鹵獲品

手榴彈 一一 小銃彈 一〇〇

燼滅部落

大小四一 (縣主村一胡家窪遺溝遺諸部落)

我損害

戰傷兵二 (戰傷馬(白馬)一)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(三)仝廿八日九時三十分薬子樹溝(台庄南方五粁)南方高地ニ於テ五百ノ下ラサル敵ト交戦之ニ大打撃ヲ與ヘタリ
十九時大洋甸村ニ進出又
六時大洋甸村ニ兵力ヲ集結シ部落ヲ燼滅セリ

戦果
敵遺棄死体 一〇〇
鹵獲品
小銃 四〇
ガイサマイト爆薬(爆破筒ヲ含ム)六〇個(爆破筒ヲ含ム)六〇個
冬軍衣袴 三〇〇着 新庄西方山際
藩十一集團政治部長発大洋甸村

一、敵情
右燼滅破壊ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(七)捕虜ノ言ニ依レハ十庄(井泉鎮東々北十二粁)十二八十八葉團軍司令部ハ四五千(兵力過大ナラン)ノ敵集結シアルモノ如シ

(一)貴鎮ニハ三八五旅第九團第一營(約三百)アリト

(三)(二)張村灣(櫃店東方約二十二粁)附近ニアリテル決死隊ハ百及工昨晩(櫃店東北方約二十粁)前庄附近ニ至リ歸隊シアリテル決死隊約千八二十九日頃一部ヲ殘置シ大部鎮方面ニ移動セルモノ如シ

(四)三八五旅七九團長ハ第一次洪水鎮附近ノ戰鬪ニ於テ戰死セリト(密偵報)

(五)新德憲兵分隊ニ於テ取調中ノ第八集團第二一旅政治部員カ河旅ヨリ連絡ニ來タル同僚ヨリ聞知セル所ニ依レハ八路軍ハ第二次百團作戰ニ民國在華北二百團ヲ以テ日本軍占領地區ノ奪回ヲ企圖シアリ右ハ百ヲ團

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ以テ石太線方面攻撃他ノ各團ヲ以テ鉄道沿線並ニ
白井軍占領地區ヲ奪還スヘク既ニ各軍ハ行動ヲ開始セ
リト尚中央軍モ亦之ニ協力スルコトトナリ衛立煌軍ニテ師
ヲ京漢鉄道沿線ニ増援セシメタリト
(ホ)又支隊方面ノ敵ハ洪水鎮西北方地區ニ退却セルモノ、如シ
オ又支隊進出後進撃機龍鎮洪水鎮附近ニハ約二千
名ノ敵集結シツルモノ、如シ

三、旅團長ハ十月二十八日十二時獨混四旅作命甲第八〇二號ヲ
下達シ桐柏鎮進出後、又支隊ノ行動ヲ律ス
獨混四旅作命甲第八〇二號
獨立混成第四旅團命令 十月二十八日十二時 於
一、又支隊ハ桐柏鎮進出後左ノ如ク行動スヘシ

1734

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二十九日未明ヨリ盛岡谷地ヲ攻撃後桐峪鎮ニ二十日一部ヲ以テ
桐峪鎮下口鎮村（桐峪鎮東南四粁）道ニ沿フ谷地ヲ主方
ヲ以テ桐峪鎮南方（桐峪鎮東北八粁）道ニ沿フ谷地ヲ攻撃
掃蕩シ桐峪鎮附近ニ位置シ二十日隘峪口ヲ経テ南東楷
隘峪口北方六粁）二十日一日終樹底（隘峪口西北九粁）ヲ経テ盧
縣ニ進出ス

二、予ハ盧縣戰闘司令所ニ在リ

琉團長 比山少將

三、下達法 電報後印刷交付

十月二十九日

戰闘経過ノ概要

（一）友隊ハ二十九日七時深峪盆發ハ時東崖底ニ進出シ主

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

トンケ南方部落ヲ燼滅ス、爾後同地東方谷地部落ノ燼滅ヲ実施、洞峪鎮ニ進出ス

午時二十五分東崖底ニ主力ヲ集結ス北陥(東崖底西北方一粁)ヲ燼滅ス

十五時東崖底南方及東方谷地各部落ヲ燼滅ヲ終リ十七時洞峪鎮ニ進出、同地北方高地ニ在リクル約二、敵ヲ攻害之ヲ北方ニ高退、同地ニ露営ス

戦果

敵遺棄死体 約一〇

捕虜品

小銃 一

弾薬 八〇

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

板
支那禁
防寒外套
靴

二五〇(半数携行) 焼却(東鎮溝)
一〇〇〇 同右(同右)
三〇〇 同右(東文好)
五〇〇 同右(馮岩)

東窪底ニテ敵使用建造物千棟並東窪底ヲ中心トシテ
二乃至四新坟南谷部落ノ燼滅ヲ実施ス
才支隊ハ二十八日十六時寨坪洪水鎮南方二粁ニ進出次テ
二十九日六時郭家屯(洪水鎮西方二粁)ニ兵力ヲ集結セリ
有力ナル敵ハ洪水鎮西方高地一帯ヲ占領シアリ
矢張ハ極力臺面ノ敵ヲ攻撃中ナルモ頑強ナル四
周ノ敵ノ妨害ヲ受ケ前進意ノ如クナラス然ルニ其後次四周ノ
敵ヲ撃破シツヽ河北溝(西窪底南方三粁)ヲ経テ二十時三十分
関家窯(洪水鎮南方約古粁)ニ進出ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

敵ハ西南ニ大部隊ヲ集結シ其ノ兵力四五千ヲ下ラサルモノノ如シ

(三)

支隊ハ敵高及患者多數ヲ有シアルタメ支隊獨力ノ突破困難ノ狀況ニアリ

右支隊ハ二十九日九時四十分高家ヲ出發シ約三百ノ敵ヲ其ノ西南方ヨリ攻撃シ之ヲ下庄方面ニ潰走セシメタル次テ十時四十分新店ノ大半南村西北方七粁ノ突濟(?)高地上ノ敵一部ヲ以テ下庄方面ニ潰走セル敵ヲ追撃ス

飛行機ノ通報ニ依レハ下庄ニハ大ナル敵ナシト雖モ昨日未退却セル敵ノ大部ハ下庄附近ニ集結シアルモノト信ジ本日新店西方二粁高地附近ニ於テ左記ノ者ヲ攻撃セリ

左記

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

歩兵一等兵　湯川貞一（富山）殁
〃　前川末松（　）〃
〃　清水満治（京井）〃
〃　佐藤富吉（水営部）〃

軍曹　高橋正一ニ於テ手榴弾ニ因ル左手首切断ノ重傷ヲ負ヒ大部分療養中

敵情

（一）當崖底ニハ一二九師供給部及輜重兵ヲ主トシテ殿隊ノ糧秣、軟殺ニ任ジアリシカ白谷軍ノ追攻ニ遇ヒ前河北岸ニ移動セリト一ニ同主力ハ高軍吸合着準備ニ為メ午時ニ至ル迄ニ渉渉ニ輸送セラレント

（部落民ノ言確度微ナリ）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(一) 第虞兵団ハ鎮南関ニアル三八兵団ノ方ハ日令第
号ニヨリ在ノ物品ヲ河北省方面ニ移動セシメ現在
治ニ約三百名ヲ残置セシメ日本軍ノ追及ヲ監視セシムヘシ下

(補虜ノ高確度乙ニ)

(三) 不文敵捕虜ノ言ニ依レハ下記第鎮南ヲ北十二軒ニ六
十、葉團軍司令部及四五十(兵力過大ナラン)ノ敵集結シ
アルモノノ如シ(確度乙下)

(四) 飛行機通報(二十九日正時ニ分)ニ依レハ新高(大津南西ニ
七新)ニ下記敵地區ニハ相當ノ敵陣地アルモノノ如シ

三、
一、葉團ニハ第三次作戦準備ノ爲十月二十九日九時獨混旅
作命甲第八〇四號ヲ下達ス
獨混四旅作命甲第八〇四號
一、獨混第四旅團命令
通報ニ十九日九時

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

6291

一、旅團ハ第二次作戰ニ引續キ該作戰參加部隊ヲ整理
シ行ヲ共ニ許要部隊ヲ增加シテ第三次作戰行動發起ノ態
勢ニ着カシムルノントス

二、各隊ハ別冊第三次作戰準備行動計畫ニ基キ行動ス
ヘキ細部ニ關シテハ參謀ヨリ指示セシム

三、行動ノ細部ニ關シテハ參謀ヨリ指示セシム

四、軍ハ遠藤戰鬪司令部ニ在リ

下達法 印刷交付

旅團長 比山少將

1741

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1624

獨混四旅作命甲第八〇四號別冊

第三次作戰準備行動計畫

昭和十五年十月二十九日六時
獨立混成第四旅團司令部

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、戰鬪司令所ハ情報所ヲ監縣ニ殘置シ主隊ヲ率ヰテ往セシメ
陽泉ニ歸還ス
二、其ノ日次ノ如ク命ス
通中治隊谷警備隊ノ築城指導ヲ實施ス
情報所ハ十月二日和順ニ到リ十月三日陽泉ニ歸還ス
以上ノ自新車輸送ハ兵站自動車第四十六中隊ノ担任ト
シ其ノ細部ハ別ニ示ス
三、又隊長ハ和順ニ進出ト共ニ和順ニ於ケル左記部隊ヲ
原所屬ニ復歸セシメ十月三日和順出發監縣ニ歸還シ
現ニ配屬中ノ山砲兵一小隊(四一分隊ノ火砲ヲ馬ニ以テ通過部隊
ノモノニシテ監縣ニ殘置セラルヘキ兵一小隊ヲ分隊)歩團通信一分隊
(3)(ニ)各路重兵一小隊(一分隊ヲ)ヲ併セ指揮シテ地區警
備隊長ノ任務ニ復スルモノトス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

9291

左記（一部改正）

獨立歩兵第十四大隊（一中隊欠）
獨立歩兵第十五大隊（一中隊
和合山破兵中隊（二小隊欠）（一分隊、破及馬匹ハ逸駅ニ残置）

二、前項ノ部隊ハ、各隊所属連隊区司令部ノ指揮ヲ受ケ、
中隊（三小隊（三分隊欠）欠）及旅團司令部ノ馬匹八十頭ヲ
和順出發ノ行軍及鉄道輸送ニヨリ又ハ徒歩ニ復歸スル
モノトス

三、前項ノ部隊ハ、昭和十五年十月末日迄ニ平安ニ同地ニ於テ
大尉ニ至ル指揮スルモノトス

四、又破レタル逸駅ニ於ケル
部隊ハ、其ノ指揮下ニ入ラシメタル後、逸駅ヨリ發送ノ
警備地ニ歸還シ、鈴木地區警備隊ハ、任務ニ復ス

114　1744　~~1743~~

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

左記（才部隊ノ編入）

第三十六師團ノ步兵二中隊機關銃二小隊
輜重兵一小隊（一分隊ヲ通信ニ分隊（M⑤））
第四十一師團ノ輜重兵一小隊（一分隊ヲ通信ニ分隊（M③））
工兵一小隊
旅團通信一分隊
輜重兵一小隊（一分隊ヲ和順ニ於ケル行動間道整部隊ニ山砲兵一小隊（一分隊ヲ）
重兵第三中隊（三小隊三分隊ヲ）及旅團司令部ノ馬匹並ニ陽泉ニ陽駐屯各部隊ノ病馬（盧谷在ル長ヲ）ヲ指揮セシムヘシ
右部隊ハ前項才部隊及第四十一師團ノ部隊及他兵團ノ病馬ヲ除ク）ヲ併セ指揮シ十月三日壇頭出發

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

軍ニヨリ十一日六日夕迄ニ沁縣ニ到リ菊田中佐ノ指揮下ニ入ルモノトス

六、菊田中佐ハ前項部隊ヲ併セ指揮シ第二期善中作戦計画別冊其ノ二ニ示ス部隊ヲ編成シ沁縣ニ於テ第三次作戦ヲ準備スルモノトス

左記(甲部隊ト稱ス)

長木村陸軍中尉

第三十六師團ノ木村歩兵中隊ト機関銃一小隊獨立混成第四旅團ノ山砲兵一分隊(現ニ坂井地區警備隊ニ配屬中ノモノ)

旅團通信一分隊(M③ニ(現ニ又吉隊ニ配屬中ノモノ)

七、又吉隊ハ權店進出後今暫ク同地ニ殘置シ軍ニヨリ主力ヲ以テ十一日七日迄ニ関鎮ニ到リ第三次

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

6291

主各部隊行動間、宿営、給養ハ各警備隊(守備隊以上、モノ、担任トシ)部隊行軍ノ為所要経路ハ連隊ニ於テ指定ス

117

1747

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

作戦ヲ準備スルモノトス

八、今當大尉ハ第七項ノ牛部隊ヲ併セ指揮シ續高ニ於テ第三次作戦ヲ準備ス

九、旅團直轄部隊ハ主力ノ一日ノ兵ノ編成ヲ解キ左ノ如ク行動スルモノトス

1. 田中歩兵中隊（小隊ト機関銃一分隊ヲ）八十頭ノ一日ノ塗縣出發行軍ニヨリ和順ニ到リ原所屬ト復歸スルモノトス

2. 山砲兵一小隊（一分隊ヲ）（砲及馬四ヲ）塗縣ニ殘置シ輜重兵第三中隊（三小隊ヲ分隊ヲ）ヲ以テ旅團司令部ノ馬四八十頭ノ一日ノ塗縣ニ於テ又ハ敵長ノ次ノ和順ニ於テ和合大尉ノ指導下ニ入リテ行動ヲ各々原所屬ト復歸スルモノトス

3. 兵站自動車第四十六中隊（勝リ小隊（軍戦山砲一分隊ヲ屬ス）ヲ屬ス）第一項戰鬪司令所ノ輸送ニ任ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

以歩團通信隊主力ハ橋頭附近ニ陽泉ニ歸還又
衛生隊馬廠護衛ノ八十一日ニ開鎖ニ衛生隊馬ハ陽泉北縣南方面ニ
區分ニ後送ス
其ノ細部ハ旅團高級獸医之ヲ區處ス
十一、田中大隊ハ十一月一日和順ニ於テ田中中隊ヲ掌握シ十一日二日
迄ニ昔陽ニ集結シ四日昔陽出發陽泉ニ到リ十一日六日陽
泉發鐵道輸送ニ依リ運城ニ到リ原所屬ニ復歸スルモノ
トス
但シ田中中隊ノ小川小隊(約一ヶ分隊四十名)ハ十月四日迄兵站
自動車第四十六中隊長ノ指揮ニ入リ自動車援護ニ任
セシメ同日解任ニ際シ所屬ニ復歸ス
十二、第三次作戰參加部隊ハ密ニ發進準備ヲ完了シ十一月八日
正午第三十六師團長ノ指揮下ニ入ルモノトス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獨混四旅作命甲第八〇六號ノ一

獨立混成第四旅團命令　十月二十九日九時　於縣

一、本職別紙計畫ニ基キ石太鐵沿線警備隊陣地施設ノ指導ヲ實施ス

二、各關係地區警備隊長ハ別紙計畫ノ通リ心得ヘシ

三、各部隊長ハ巡視間ノ輸送警戒ニ任スヘシ

四、勝川小隊ハ名巡視間ノ連絡警戒ニ任スヘシ

旅團長　片山少將

下達法　印刷交付

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵團長石太線各警備隊陣地設營指導計畫

月日	地區	警備隊	指導時間	摘要
X日	原田地區	陽泉出發八〇〇		
		黃馬舍警備隊	一、〇〇	一、現地指導 原田地區警備隊長名關係中隊長ハ立會スルモノトス 二、築城教育 原田地區警備隊長ハナルヘク多クノ將校ヲ壽陽ニ集合セシムルモノトス 三、沿線ノ警戒ハ地區警備隊長擔任スルモノトス 四、細部ハ地區警備隊長計畫スルモノトス 五、三十一日夜壽陽ニ宿泊ス
		一六〇料	一、〇〇	
		上湖	三〇	
		一八〇料	三〇	
	蕭家莊	一八五料	三〇	
		一九〇料	三〇	
	聯落鎮		三〇	
		養陽出發九〇〇	三〇	
	芹泉	警備隊	三〇	
	張海鎮	一四五料	三〇	
		一四四料	三〇	
	十里舖		三〇	
	坡頭	警備隊	三〇	
	測石	陽泉着一六〇〇	三〇	
	陽泉	出發八〇〇	三〇	
	陽泉東部鐵橋警備隊		三〇	
X日	江地區	亂流	三〇	一、現地指導 江地區警備隊長名關係中隊長ハ立會スルモノトス 二、沿線ノ警戒ハ地區警備隊長ノ擔任トス 三、細部ハ地區警備隊長計畫スルモノトス 四、築城教育 築城教育ノ日時ハ別ニ示ス
		警備隊	三〇	
		龍庄	三〇	
	岩會		三〇	
	下磐石		三〇	
	代社		三〇	
	程家龍底		三〇	
	娘子關		三〇	
	韋澤關		三〇	
	地都村		三〇	
	陽泉着	一九〇〇	一、〇〇	

備考
一、隊行者、淵野少佐、山田副官トス 二、巡視間ノ警戒ハ號裝甲列車隊及勝川小隊トス 三、號裝甲列車隊長ハ遊行計畫ヲ立案シ三十日提出スルモノトス 四、指導時間ハ變更スルコトアリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獨混四旅作命甲第八〇五號
獨立混成第四旅團命令　十月二十九日十時　鹽縣

一、第二次晉中作戰ハ濆謝ニ進捗セリ

二、旅團戰鬪司令所ハ鹽縣ニ猶殘置シ陽泉ニ移動セントス

三、主因參謀ハ別紙人員ヲ指揮シ鹽縣ニ猶殘シ情報收集並ニ連絡ニ任ゼシム

四、戰鬪司令所各機關ハA日B晩鹽縣出發自動車ニ依リA日昌陽ニA+1日陽泉ニ前進スヘシ

五、兵站自動車第四十六中隊長ハ部下中隊ノ一ヲ率ヰ田中中隊ノ一分隊ヲ以テ勝川小隊自動車載山砲兵一小隊ノ一分隊ヲ旅團無線一分隊金驃ノ一ヲ指揮シ戰鬪司令所ノ掩護ニ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

任スヘシ

田中中隊ノ一小隊機関銃一分隊ハ十日四日迄ニ其ノ指揮ニ
属スル同日之ヲ湯泉ニ於テ原隊ニ復帰セシムヘシ

六、田中中隊ノ一小隊機関銃一分隊勝川小隊ノ軍戦ニ於ケル
兵一小隊ノ分隊又ハ敢闘無線一分隊並ニ八日B-1時迄ニ
時兵站自動車第四十六中隊ニ指揮下ニ入リ滝護ニ
任スヘシ

七、田中中隊ノ小型一分隊又ハA日B-1時迄ニ到着次テ
提村石造村清河庄村ニ要地ヲ占領シ名自動車
部隊、通過ヲ滝護スル為ニ歸還スヘシ

八、地区警備隊長ハ前項部隊輸送ノ為自動車
約三輛ヲA日B-1時迄ニ田中中隊長ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

九、予ハA日B時迄ニ到着後指揮所ヲ陣地ニ設ケ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

指導ニ於ヒ前進ス

旅團長ヨリ左ノ少將

下達ス

口達後印刷交付

十月三十日

一、戰鬪經過概要

(一)、又支隊ハ獨混四旅作命甲第ハ、ハ、九號ニヨリ才支隊方面ノ戰鬪ニ協力スヘク三十四ハ時桐路鎭ヲ出發ニ敵陽トナリ右翼隊(歩兵一中隊山砲一ノ一ヲ以テ編成)ハ敵(主力)ヲ西南方ニ邀撃スヘク常方高地ー柳樹岩ー堤上(關島北西南方二粁)ヲ經テ常方三粁)道ヲ左翼隊(主力)ヲ以テ常方高地ー新庄ー南寺ー南方二粁四粁)南方高地ー新庄ー南寺ー南方二粁開鎭

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

西隣高地ヲ前進敵背後ヲ衝クメテ攻撃ス
ル敵ト遭遇セサルモ西南方ニ微カナル砲聲ヲ聞キツヽ
午後二時半頃ニ至ル
引續キ一九四六高地ニ向ヒ前進中
主力ハ七樹溝北方高地ニ於テ小數ノ敵ヲ撃破ス
ル頃ハ二個時頃一九四六高地南側地區ニ集結ヲ得ル見込
ナリ

戦果

捕虜　廣
砲　一
軍旗　一
小銃　三四
軽機　二
拳銃　二〇
軍刀　一〇
双眼鏡　一〇
信号筒　一
無線電話機　一
印刷用具　一
其ノ他　多數

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(二)

一、本隊ハ二十九日以来洪水鎮南方右翼附近（地点不明）ニ於テ四五千ノ敵ト交戦中ニシテ戦闘有利ニ進捗セリ

一、歩兵第一連隊ハ石門村西北方開鎖曲線附近（一部）及其ノ西方高地（某方）ヲ占領セリ

一、歩兵第一連隊ハ八十三時四十分、十六時四十分極力ニ攻撃ヲ続クルモ我進行機ノ協力ニヨリ四周ノ部落附近等ニ退避ス

戦況稍々小康ヲ得

一、歩兵第一連隊ハ十時三十分頃ヨリ再ビ附近ヲ来リ襲ヒ敵ノ退却ヲ認メ次第ニ勢ヲ整ヘ関帝廟部落北方高地ヲ死守ス

一、歩兵第一連隊ハ石門村西北方高地ヲ占領シアリタルモ一部ハ撤退ヲ来タルモ残部ハ尚之ヲ守リアリ

一、歩兵第一連隊ハ午三十四分ノ頃ニ石門村西北方高地ニアル一部ヲ主力ヲ以テ攻撃セムヘク企図シアリ

1756

(三)
一、大阪八時三十分高射第一大隊陣地ヲ東方高境附近ニアル敵ヲ攻撃之ヲ高境南方ニ駆逐シ一部ヲ以テ陣地東方ニ警戒南北方ニ渡ル三十分下陣ス兵力ヲ集結ス

戦果
敵遺棄死体　六
捕虜　一
鹵獲品
小銃　八
拳銃　一
弾薬　三六〇発
手榴弾　四一
トラヒカン　二
防寒帽　三〇
外套　三
防毒面　三七
ミミンン　五五

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

被服補修材料
黒色火薬
冬季
被服上場ヲ燼滅ス
武漢區

(四)
一、重傷兵
一、戰死馬
一、負傷馬二
(四)由中部陽八獨混四旅俗命甲第八一〇號ニヨリ三十日午七時三十分和順出發行軍ニ依リ遠驛ニ向ヒ前進ス明三十一日四時遠驛到着ノ豫定

二、敵情
(一)今ヤ陽補廣、言ニ依レハ一昨日來ノ陽上交戰ヒル敵ハ一二九

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

師ニ編入シ第五圖三宮(五)ニシテ主力ハ南流南方ニ向ヒアルモノヽ如ク
(雍慶甲)
軍司令部ハ二十四日下庄出發大清莊ヲ經テ芹菜鎭方面
ニ前下サリト(雍度乙)
(二)洪水鎭北方高地ヨリ蟠龍鎭附近一帶ノ高地ニ亘リ約
一千大石南(石川村南方五粁)北方高地ヨリ西井鎭ニ亘リ
約一千ノ敵アリ(方支隊報)

三、旅團長ハ支隊ヲシテ速ニ方支隊ノ戰鬪ヲ協力セシムベク
十日三十四二時獨混四旅作命甲第八。八號ヲ下
達ス
獨混四旅作命甲第八。八號
獨立混成第四旅團命令
十月三十四二時
於幣

一、支隊ハ主力ヲ以テ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、師団ハ後命ヲ俟テ主力ヲ以テ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、予ハ爾後軍司令官ノ指揮ニ従ヒ旅団ヲ率イテ山ノ下ニ達セントス

電報後刻到着

一、支隊ハ二十九日二十時三十分迄ニ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、師団ハ後命ヲ俟テ主力ヲ以テ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、予ハ爾後軍司令官ノ指揮ニ従ヒ旅団ヲ率イテ山ノ下ニ達セントス

獨混四旅作命甲第四號ノ一

獨立混成第四旅團命令

（十月二十日二時発）

一、支隊ハ二十九日二十時三十分迄ニ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、師団ハ後命ヲ俟テ主力ヲ以テ高地ノ線ニ進出シ敵ヲ撃滅スルノ準備ヲ為スヘシ

一、予ハ爾後軍司令官ノ指揮ニ従ヒ旅団ヲ率イテ山ノ下ニ達セントス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

地ヨリ洪水鎮常安高地方向ニ前進シ来ル敵ノ戦闘ニ協力スベシ

旅團長伍山少將

下達語

電報機印刷交付

四、旅團長ハ来ル敵ト交戦中ノ敵ヲ急襲殲滅セントシ十月三日正時獨混四旅作命甲第八一ノ一號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第八一ノ一

獨立混成第四旅團命令

十月三日十二時

一、来ル敵ハ十月九日以来洪水鎮附近ニ於テ四五千ノ敵ト交戦中ナリ

二、軍ハ第三十六師團ノ成ルヘク多クノ兵力ヲ以テ洪水

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、大隊ハ一九四六高地附近ニ進出後速ニ柳樹嘉方高地（五方分一、漂高二六四）ヲ経テ関家溜東北地區ニ急進ヲ背後ヨリ敵ヲ殲滅スヘシ特ニ西井鎮方向ニ逸出スル敵ニ対シテハ極力之ヲ捕捉殲滅スルニ努ムルヲ要ス

三、戦闘ニ際シテハ才支隊及田中大隊トノ連絡ヲ密ニスヘシ

四、予ハ逸聯隊戦闘司令所ニ在リ

旅團長　比山少將

下達法　電報後印刷交付

六、旅團長ハ田中大隊ヲ洪水鎮西北方高地ニ進出セシメ才支隊正面ノ敵ノ背後ヨリ此ノ敵ヲ殲滅セシムル爲十月三十日二十時攝概西郷作命甲第八一號ヲ下達ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獨混四旅作命甲第八二號
獨立混成第四旅團命令　十月三十日二十時
一、才支砲正面ノ敵況、飛行機ノ爆撃ニヨリ、昨八歳ノ得タルコトアルモ三十日朝來不良、敵況ニアリ
又支砲ハ一九四六高地附近ニ陣地ヲ占領後引續キ柳樹窩東方高地（五九四、一標高ニ六四）ヲ經テ才支砲正面ノ敵ノ背後ヲ攻撃ス
二、田中大隊ハ成ルヘク速カニ盧縣當發盧縣ー洪水鎮道西方地區ヲ洪水鎮西北ノ高地ニ進出才支砲正面ノ敵ノ背後ヨリ此ノ敵ヲ殲滅スヘシ
特ニ西方ニ逸出スル敵ニ對シテハ極力之ヲ捕捉殲滅スルニ努ムルヲ要ス
三、戰鬪ニ際シテハ又及才支砲トノ連絡ニ努ムヘシ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、予ハ金縣戰鬪司令所ニ在リ
　　第四團長比山少將
　下達ス
　　隊長ニ直接口達スルト共ニ印刷交付

十月二十一日
一、戰鬪經過ノ概要
（一）天候ハ九時三十分一部ヲ以テ薄雲南方高地出發
　　頭初右ニ迂回ノ主力ヲ以テ同時夢別村ニ、二高
　　地西方西北方高地出發新庄ニ附孝道ヲ前進ス
　　ル敵ハ高地ニ陣地ヲ占領シ砲兵ハ高地ニアリ
　　午前九時夢別村西方三軒屋鎖、高地ニ
　　陣地ヲ占領シ砲兵ハ高地ニアリ四五高ヲ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

攻撃ス　敵主力ハ西方ニ退却ス
友隊ハ新庄南方二三粁高地ニアル洞ノ
十五時三十分柳樹谷（洪水鎮東南方四粁）南方ノ杆ヲ前進
ヲ続キ関家堰東北方地区ニ前進ス
ス　敵ノ第一線ハ十六時三十分塔山及其ノ東方ノ杆ノ道路
ニ進出
塔山及楊李村（塔山西北方ノ村）附近ニ集結セル敵ノ主力ヲ
以テ頑強ニ抵抗ス　敵ノ一部ハ東方ニ退却セリ
獨混四旅ハ命甲第八八號ニヨリ又ハ昔ノ河ニ沿ヒ南後ニ
ス　敵ハ二十三日夜楊李村ニ集結ス

戰果
捕虜　大

1765

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

白米諦　三〇〇〇发　拳銃　一
準　服　二〇〇着　自動小銃　十
巻脚絆　三〇〇足
大部分焼却ス

(二)
才支隊正面ノ敵ハ三十日一時ヨリ西時三十分迄ニ反復攻撃シ来ルモ白兵ヲ以テ之ヲ要地陣地ヲ確保シ夫明ニイタル

之ニ対シ十八時頃一部ヲ以テ石門村、西北方開鎖曲諦高地ヲ主力ヲ以テ其西方高地ヲ攻撃シアリ敵ハ戦車ヲ以テ反復ス

之ニ対シ夕刻迄ニ石門村西北方開鎖曲諦高地ノ一部ヲ徹去シ主力ヲ以テ合セントスルコトヲ得タリ
敵主力ハ我ガ支隊ノ攻撃ヲ知リ本日一日未明来西方

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

及西北方ニ向ヒ退却ヲ開始ス
雲南ノ敵ハ又飛行機、協方ニ依リ附近ノ部落ニ潜入シ
ニ、加ヘ戦況不振ヲ得タルヲ以テ部隊ハ戦死傷者ノ收
容及處置ヲ実施セリ

戦果

敵遺棄死体 一二六

鹵獲品

小銃 四一 自動小銃 二
ピストル 一 十糎機関銃 一
其ノ他手榴弾小銃弾多数

戦死 一
負傷 九
計 一〇 (内将校一)

戦死 五 (内将校一)
負傷 九 (内将校一)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(三)
右ノ敵ハ本三十一日午時頃ニ鎮ニ進出シ來リ一部ノ敵ハ同時頃西五指(榜児鎮西北方四粁)ニ前進シ尚殘リノ刻ハ白羊水附近ニ進出シ又陽主方ハ路河村(黎城南方八粁)ヲ經テ西時路駝村ニ進出ス

ナ部隊ハ三十一日ニ時ヲ以テ右ノ敵ノ掃蕩ヲ開始セリ

(四)
因中ノ敵ハ八時遠野出發洪水鎮西北方高地ニ向ヒ前進ス

二時三十分柳村(遠野南ヲ西方八粁)西方標高一六六高地ハ西谷(望橙村西北方二粁)北方開豁高地ヲ經テ十九時一九二八高地(洪水鎮北方四粁)ニ進出ス

途中大ナル敵ヲ見ス

敵情

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

(一) 方ヲ以テ敵ノ進路ヲ阻止シ(石門付近ノ高地ヲ占メ)ニ新華日報社(其ノ軍機関紙ニアルモノノ如シ)

(二) 方ヲ以テ敵ノ主力ハ三十日以後ニ於テ更ニ西進スルヲ阻止シ(南ノ敵主力ハ三十日以後ニ於テ飛行機頂発ニ依ル本三ヶ日ノ時機戦場ニハ大ナル敵ヲ見ズト)

(三) 部隊ヲ以テ(関家堰東北三軒)西側ニハ国軍ニアル部隊ヲ以テ鎖ニアリ部落ヲ敵アルモノノ如シ

中村(関家堰西北三軒)関家堰南方(何ヲモ聴取セズ)西軒)附近ヲ大々三三五五敵兵両方ニ退却中ナリ

以上ニヨリ敵主力ハ既ニ両方ニ退却シアルモノト判断シテル

三、旅団長ハ十部隊ヲ以テ速ニ急行セントスル為襄泥西北地区ヲ守備ハ二主隊ヲ下達ス

襄泥西北地区守備甲第八二号

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獨立混成第四旅團命令
（十月三十一日十時三十分 盧縣）

一、十部隊ハ青龍鎮谷地ニアル敵重要軍事施設ヲ殲滅
　　スベシ
二、途中於ケル一切ノ抵抗ヲ排除シツツ盧縣ニ急行スベシ
　　特ニ後方ヨリスル奇襲ニ對シ警戒戰闘ニ優越スル態勢ヲ保
　　ツ事ヲ要ス
三、本命令ノ基ク企圖行動ニツキ至急報告スベシ
四、予ハ盧縣戰闘司令所ニ在リ

旅團長　庄山少將

下達法
電報後印刷交付

1770

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

四、第一師團ハ岡部支隊ヲ除キ主軍ヲ以テ敵ノ西方及西北方ニ向ヒ進撃セントス

五、軍ハ進撃戦闘司令所ヲ在リ

獨立混成第四旅團命令

一、岡部支隊ハ當面ノ敵ヲ牽制シ十月三十日ノ時機ニ至リ主軍ノ西方及西北方ニ向ヒ進撃ヲ開始セリ

二、旅團ハ先ツ清漳河ノ南ニ向ヒ敵ヲ追撃セントス

三、田中支隊ハ舖名(地點西南二十粁)ヲ經テ(綱社南々北十粁)ノ橋頭(綱社北方ノ村)ニ進ミ清漳河ノ南ニ追撃スヘシ

四、各進撃隊ハ當面ノ敵ヲ殲滅シ特ニ命ス

五、軍ハ進撃戦闘司令所ヲ在リ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

旅團長 岩山少將

下達法 電報後印刷交付

獨混四旅作命甲第八五號

獨立混成第四旅團命令

一、岡崎大隊ハ二十九日未明來面方面敵ハ本三十一日未明來面方面ニ向ヒ退却ヲ開始セリ

二、旅團ハ清漳河ノ線ニ向ヒ敵ヲ追撃セントス

三、左ノ隊ハ成ルヘク速ニ漢路ヲ經テ襄東十三村ニ急進スヘシ

王鎮 澧縣北緣東十三村ニ急進スヘシ

四、予ハ澧縣戰鬪司令所ニ在リ

旅團長 岩山少將

下達法 電報後印刷交付

十月三十日夾峰 澧縣

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

獨混四旅作命甲第八一六號

獨立混成第四旅團命令　　十月三十日十時三十分
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　遼縣

一、敵ハ遼縣東南ノ線ヲ西方及西北方ニ退却セリ

二、旅團ハ敵ヲ追撃シ河ニ向ヒ追撃セントス

三、又支隊長ハ主力ヲ以テ遼縣ヲ経由(衛後又ハ支隊ト協力)先ツ洪水鎮ヲ進出スヘシ

四、細部ニ関シテハ後命ス

五、予ハ遼縣戰鬪司令所ニ在リ

旅團長　片山少將

下達法　電報後印刷文付

六、旅團長ハ田中大隊ノ一中隊ヲ遼縣ニ前進セシムルカ為十月三十一日二十一時三十分獨混四旅作命甲第八一七號ヲ下達ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

向ヒ敵ヲ追撃スヘシ

四、国中大隊ハ舗岩ー舗上(納社東微北約十二粁)ー水磨ノ鎮(納社北方約八粁)道ニ沿ヲ地区ヲ清掃ノ上、鎮ニ敵ヲ追撃スヘシ

五、又大隊ハ才又隊ヲ併セ指揮ノ一部(歩兵二中山砲一小隊基幹)ヲ以テ洪水鎮ー鎮上(洪水鎮西北約七粁)ー屯村(納社東南約四粁)ー潭村(納社南方約六粁)道主ヲ以テ洪水鎮ー才学岩(洪水鎮北々東八粁)ー溝堂鎮ー納社道ニ沿ヲ地区ヲ清掃ノ上敵ヲ追撃スヘシ

途中才学岩ニ於テ左記諸隊ヲ補給隊長渡邊大尉ノ指揮下ニ入テノ後追撃ニ移リ才学道路ヲ警戒スヘシ

左記

歩兵中隊(一小隊欠機関銃一分隊欠)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1697

松田歩兵中隊
無線一分隊（三號機）
輸重兵八隊主力

六ヶ部隊ハ遠縣ニ進出夜同地ニ待機スヘシ
七、各隊ハ敵ノ北方ニ現ルル防ニ止在ニ敵ヲ
撃滅スヘシ
又追撃実施中敵ノ遠ク退避セルヲ察知セハ目標線ニ
急追スヘシ
八、大隊ハ寒々生鎮ス大隊ハ十字路ニ於テ十一日夜準
警戒ノ補給及傷者ノ後送ヲ実施ス
其ノ詳細ハ別命ス
九、予ハ遠縣戦闘司令所ニ在リ
旅團長 庄山少將

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

下達法

要急ヲ電報後又ハ郵、国中大隊ニ飛行機ニヨリ投下スル際ハ送付ノ部隊ニ交付ス

一、旅團長ハ又ハ大隊ニ對スル補給隊ヲ編成シタル時ハ第八一九號ノ下達ス

二、獨混四旅ハ命甲第八一九號ニヨリ獨混四旅ノ一部ヲ以テ混成第四旅團命令ヲ渡邊大尉ハ左記部隊ヲ以テ補給隊ヲ編成シ十月一日十二時ニ邊縣安發邊縣ニ集合シ爾後ハ左記部隊ノ行動ニ關シテハ獨混四旅ノ命令ニ從フヘシ

十月三十一日二百時

邊縣

補給隊ヲ編成シ十月一日十二時ニ邊縣安發邊縣ニ集合シ爾後ハ左記部隊ノ行動ニ關シテハ獨混四旅ノ命令ニ從フヘシ

一、渡邊大尉ハ左記部隊ヲ以テ補給隊ヲ編成シ十月一日十二時ニ邊縣安發邊縣ニ集合シ爾後ハ左記部隊ノ行動ニ關シテハ獨混四旅ノ命令ニ從フヘシ

147

1776

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

左記

獨歩十三大隊集成一中隊（一ヶ月）
（教導旅団第1区隊補生下番）
（補生兵ニ若干ノ射ス）
田中大隊一中隊

一、輜重兵第三中隊（八。駄）
旅團無線一分隊（五騎ト獨ス）

二、重砲兵警備隊長ハ集成歩兵一中隊（小尻）ヲ十月一日正午
重砲補助隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

三、青陽警備隊ハ田中大隊ノ歩兵一中隊ヲ十月一日四時青
陽守備隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

四、旅團通信隊長ハ無線一分隊（五騎）ヲ十月一日午後
重砲兵ニ於テ渡邊補給隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

五、輜重兵第三中隊（三分ノ二ハ徒歩）ハ十月一日午後

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

時盧縣ニ於テ渡盧補給廠長ノ指揮ノ下ニ入ルヘシ
六兵器班ニ於テハ高級経理官ハ左記彈藥類ヲ一両日
ニ時盧縣ニ於テ渡盧補給廠長ト交付スヘシ

小銃彈藥	六八〇〇發
重機彈藥	二四〇〇發
手榴彈	二〇〇發
重擲彈筒彈藥	二〇〇發
九二式步兵砲彈藥	六〇發
九四式山砲彈藥	一六〇發

糧秣 六三〇人日糧（給與品調除品）
消耗品

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヒソカニマッチ、無線用電池
七、高級医官ハ勿論護衛要員ヲ五月一日午前ニ
護衛輜重隊長ハ特ニ入テムヘシ
八、警備隊長ハ五月一日午前ニ
輜重兵第三中隊ニ交付スヘシ
九、高級獣医ハ又久慶山砲兵中隊ノ補充馬ヲ護衛
軍隊長ニ報送スヘシ
一〇、護衛補給隊ハ滞留日程甲二日乙一日分ヲ携行シ其
一回分ハ今夜松田中隊ニ交付スヘシ
二、予ハ連隊戦闘司令所ニ在リ

下達法　各隊長ニ先ツ通報シ警備隊ニハ要旨電報
其他ハ口達後印刷交付

兵団長　花山少将

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp